

心と体の健康について  
(歯と口の健康)

令和3年12月21日  
北九州市教育委員会

# 歯と口の健康づくり

1

## 北九州市の小・中学生のむし歯の状況

【20政令市における「むし歯のない」小・中学生の割合】

(令和元年度)

小学生		中学生	
1位 新潟市	94.4%	1位 京都市	79.8%
2位 横浜市	89.5%	2位 新潟市	78.9%
⋮		⋮	
18位 札幌市	50.9%	18位 福岡市	61.6%
19位 大阪市	46.7%	19位 札幌市	58.3%
20位 北九州市	44.5%	20位 北九州市	55.8%
全国	55.1%	全国	66.0%

北九州市の  
小・中学生の2人に  
1人はむし歯

小学生は5年連続、  
[2015~2019年]  
中学生は3年連続  
[2017~2019年]  
最下位



2

# 学校における歯と口の健康づくり懇話会①

令和3年2月、市立小・中・特別支援学校における歯と口の健康に関する取組みをより一層推進していくため、「北九州市学校保健会」において「学校における歯と口の健康づくり懇話会」を設置。

## 【構成員】（敬称略）

部会名	氏名	所属
学校歯科医部会	板家 隆	北九州市歯科医師会
校長部会	安元 裕彦	北九州市立槻田小学校
	山本 直人	北九州市立湯川中学校
	長谷川 智美	北九州市立小倉総合特別支援学校
養護教諭部会	寺師 かおる	北九州市立若松中学校
栄養教諭部会	大石 京子 初山 寿美子	北九州市立貴船小学校（～R3.3） 北九州市立中井小学校（R3.4～）
PTA部会	小森 潤一郎	北九州市PTA協議会（～R3.6）
	三浦 隆史	北九州市PTA協議会（R3.7～）

3

# 学校における歯と口の健康づくり懇話会②

## 【懇話会の検討経過】

	開催日	検討内容
第1回	R3.2.25	本市の現状 児童生徒のむし歯の状況 むし歯予防に関する取組みの状況
第2回	R3.3.19	市内学校及び他都市の取組み 歯と口の健康に関するアンケート
第3回	R3.5.25	健康格差 アンケート結果に基づく本市の状況分析
第4回	R3.7.28	（仮）北九州市 学校における歯と口の健康づくりに関する提言（案）
第5回	R3.10.26	北九州市 学校における歯と口の健康づくりに関する提言



第5回懇話会にて、  
各構成員からの意見をとりとめた  
「学校における歯と口の健康づくりに関する提言」  
を教育長へ提出

4

# 学校における歯と口の健康づくりに関する提言

## 【概要①】

### 現状

#### 北九州市立学校のおし歯予防対策

- 歯科検診
- フッ化物塗布
- 歯科衛生士による歯みがき指導
- 保護者啓発チラシの配布
- 全国小学生歯みがき大会への参加
- 医療費助成（医療券の発行）等

5

# 学校における歯と口の健康づくりに関する提言

## 【概要②】

### 課題

#### ○むし歯のない割合

政令市最下位

（小学校44.5%・中学校55.8%（R元年度））

#### ○健康格差

むし歯のない子とある子との二極化

#### ○生活習慣

おやつや甘い飲み物の採り方

#### ○特別支援学校の児童生徒への指導

障害の内容や程度、成長発達の個人差により  
集団指導が困難

6

# 学校における歯と口の健康づくりに関する提言

## 【概要③】

### 目標

○むし歯や歯肉炎のない児童生徒の増加  
フッ化物の利用の推進や望ましい食習慣、  
生活習慣などの普及啓発

○歯科医等の専門職及び家庭、  
学校との連携強化  
専門職（歯科衛生士、栄養士など）や家庭、  
学校の連携体制の構築

7

# 学校における歯と口の健康づくりに関する提言

## 【概要⑤】

### 方向性

### (ミッション)

①生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤となる望ましい  
生活習慣の形成

- ・おやつの採り方等の食育指導
- ・給食後の歯みがきの実施
- ・歯科衛生士による歯科保健指導

②むし歯治療、むし歯予防のための歯科受診の推進

- ・歯科検診（定期健康診断）後のフォローアップ体制の強化

③フッ化物によるむし歯予防の普及啓発の強化、  
フッ化物洗口法等の推進

- ・学校と学校歯科医との連携による新たなフッ化物洗口法等  
の取り組みの強化

8

# 学校における歯と口の健康づくりに関する提言

## 【概要⑥】

**提言の内容を反映した総合的な計画を策定することを要望**

- 新たに策定する計画を推進するために、**学校**や**家庭**、**歯科医師会**が一体となって取り組むことが重要。
- 「(仮称)学校における歯と口の健康づくり推進協議会」を設置し、毎年度、計画の進捗状況を点検し、実施すべき事業を検討するほか、必要に応じて対策の方向の見直しなどを行うことが必要。



## 【提言に基づく、教育委員会の動き】

子どもの歯と口の健康づくりを強化するための具体的な取組内容を盛り込んだ新たな5か年計画(令和4~8年度)  
⇒令和3年度中に策定予定